

グローバルチェンジマネジャー養成講座

～グローバルに競争力のある企業を創るために～

講師



福住俊男(ふくずみ としお)

グローバルマネジメント研究所代表取締役社長
1975年 アーサー・アンダーセン会計事務所監査部門に入所。1977年 株式会社アクセンチュアに移り、24年間コンサルタントとして金融業を中心に活動。87年にパートナーとしてアクセンチュア日本オフィスの経営にも当たり、多くのコンサルタントを採用・育成するとともに、コンサルティング方法論の開発や、ナレッジ共有の仕組み作りにもかかわる。2001年退職。

2002年 スタンフォード大学ビジネjing・スカラーの後、慶応大学SFC研究所研究員として、グローバル企業のグローバル最適なビジネス・プロセスの研究調査を行う。2005年7月 グローバルマネジメント研究所設立、代表取締役社長に。



松井恭士(まつい やすし)

グローバルマネジメント研究所ディレクター
大学卒業後、米系製薬会社(Bristol-Myers)で営業経験後、人事部へ異動。その後、ドイツ自動車メーカー(BMW)の日本法人で人事マネジャーとして人事グローバル推進プロジェクトに一部参画。その経験をベースに自動車部品製造会社(曙ブレーキ工業)で人事企画部長、人材開発部長、人事統括を歴任する傍ら、同社の人事グローバル化を推進した。

開催概要

【全5回】2010年9月～2010年11月

場所 パソナグループ本社研修ルーム
(東京都千代田区大手町2-6-4)

日程 9月:14日(火) 28日(火)

10月:12日(火) 26日(火)

11月: 9日(火) 30日(火)

時間 18:30～21:00

参加費 一般 60,000円(税・教材費込)

会員 30,000円(税・教材費込)

定員 24名(最小催行人員 10名)

コース概要・特色

- ◇ グローバルに競争力のある企業に求められる要件を整理し、自社をどのようにしてグローバル企業に変革していくかヒントが得られます
- ◇ グローバルに競争力のある企業に見られるグローバルチームをどのようにして作り、運営していくかを考えます
- ◇ グローバルチームをうまく運営するために不可欠なグローバル人材をどのように育て、確保するかを考えます
- ◇ 自社をグローバル企業にしていくための変革シナリオを共に考えます

お勧めしたい方

グローバル人事担当、経営企画担当、海外事業部担当、また外資系の人事部門でアジア地域トップを目指す方

コースポイント・カリキュラム

- ◇ グローバル化を推進している、またはしようとしている企業において、経営企画、グローバル人事や海外事業部が、具体的に何をすべきかがわかります
- ◇ 地域別、事業別、機能別にグローバル最適化を実現する手法がわかります
- ◇ グローバルで戦うためのあるべき組織の姿を描くことにより、組織・チームの創り方がわかります。
- ◇ グローバル企業における社員の在り方、役割を明確にでき、それに伴い、人材育成の手法、グローバルキャリアパス設計の仕方がわかります
- ◇ 以上を通して自社をグローバルに競争力のある企業に変革する全体図、具体的な手法がわかります
- ◇ また、グローバル化に向けた企業変革を行うために、経営層、取締役会にどのように提言をしていくべきかを考えます

第1回 グローバルに競争力のある企業とは

1) 競争の差別化要因が変わってきている

- ・製品力、技術力からサービス力へ
- ・スピードのある経営を行うために

2) グローバル経営企画、グローバル人事部の役割とは?

3) グローバル・ジョブパフォーマンスのあり方

第2回 グローバル最適経営とは

1) 拠点別部分最適からグローバル全体最適へ

2) 地域別組織、事業別組織、機能別組織をどう創るか?

3) グローバル最適経営を行うための要件

- ・グローバルチーム編成のあり方
- ・グローバル・ジョブパフォーマンスのあり方

第3回 グローバルチームビルディング

1) 何故グローバルチームビルディングが重要なのか?

2) グローバルチームをどのように創るか?

3) グローバルチームの運用のあり方

第4回 グローバル人材育成

1) グローバル人材の要件

2) グローバル人材育成の仕方

3) グローバル人材活用のあり方

第5回 グローバルキャリアパス設計

1) グローバルキャリアパスとは

2) グローバルキャリアパスの必要性

3) グローバルキャリアパスの例

4) グローバルキャリアパス導入のアプローチ

第6回 自社をグローバルに競争力ある企業に変革する提案

1) 企業変革アプローチ

2) 自社のグローバル化のシナリオ

3) 提案書作成

